

## 平成20年度 麻生区協働推進事業評価一覧表

No.	新規・継続	事業名	当初予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業目的及び内容	事業報告	実施主体・委託先	総合評価	今後の方向性
-----	-------	-----	----------	--------	-----	----------	------	----------	------	--------

### 1 安全で快適に暮らすまちづくり事業

1	継続	麻生区安全・安心まちづくり事業	990,000	976,705	地域振興課	区民、地域団体、事業者、行政機関等が連携し、区民が安全で安心して暮らせるまちづくりを進めることを目的とし、①地域安全パトロールの実施及び推進に伴う実施団体への物品貸与 ②安全・安心まちづくり旬間中の街頭啓発活動及び啓発物品の購入 ③地域安全パトロール実施団体相互の意見交換会、を行う。	地域安全パトロール実施組織に対し、パトロール用品(ベスト、腕章、帽子)を貸与した。組織によるパトロールは年々増加しており、区民防犯意識の高揚に成果をあげている。	麻生区安全・安心まちづくり協議会	行政単独ではカバーしきれない地域活動の実施、活性化を推進するにあたり、協議会の役割がさらに重要になってくる。また、多様化する犯罪に対して緊急対応が可能な組織体系が構築されていることから、事業に対する成果は得られているとともに、今後も支援していくことが必要である。	現在、行政内においても防犯関係業務を行なっている部署が複数あり、連携が取れているとは言いきれない現状にある。また、犯罪予防にあたっては情報の共有化と地域住民意識の向上が必要であることから、今後は集約化、共有化、地域との連携を主に活動展開していく。
2	継続	あさおガイドマップ増刷改訂事業	961,000	729,750	地域振興課	「麻生区ガイドマップ」の掲載情報を、最新情報に改訂し、人口増を考慮して増刷する。転入してきた区民を中心に、区役所窓口等で無料配布する。	増刷した15,000部は、1年間でほぼ在庫が無くなる状態であり、適正な部数が発行できている。区民からの声は好評である。	(株)ゼンリン	区民にとって役立つ情報を提供できている。	区民からの声は好評であり、次年度以降も同様に発行する。

### 2 幸せな暮らしをともに支えるまちづくり事業

1	継続	第19回あさお福祉まつり	2,900,000	2,900,000	地域保健福祉課	区内で地域福祉活動に携わる当事者・ボランティア・施設などの活動をひろく区民に知らせるとともに、体験学習などを通じてより具体的に福祉についての理解と関心を深める。	多数の区民が参加し、福祉に触れる場としての機能を果たしている。福祉関係団体、グループ等の参加は年々増加し、福祉関係団体の貴重な交流の場ともなっている。	麻生区社会福祉協議会	福祉制度や環境の変化、「地域のことは地域で」という流れの中で、区民と地域福祉を結びつける貴重な場、機会となっている。	より多くの団体に参加してもらうため、事業実施スペースを拡張する。また福祉に関心を持つ学生など、より多くの年代に対し働きかけを行い福祉のまちづくりを推進する象徴的なイベントになるようにしていきたい。
2	継続	ウォーキングマップ活用健康づくり推進事業	1,918,000	1,913,708	地域保健福祉課	歩行習慣のない区民を対象に、より身近な地域でウォーキングが開始できるような支援し、広くウォーキングの普及を図ることで、生活習慣病の予防及び介護予防を図る。	体験ウォークでは、毎回参加者が8割を超え、初参加も4割以上あり多くの人にアプローチできた。また、公園の定例ウォーキングでは、半数近くに身体面の向上があり、ウォーキングの習慣化、閉じこもり予防にもつながった。20年4月に完成したウォーキングマップは現在配布中であり、大変好評を得ている等達成度が高い。	麻生区ウォーキング推進実行委員会	ほぼ計画通りに事業を展開することができた。	今後も区民の健康づくりのためのウォーキングを普及するために、何が必要か検討し、今までの活動を検証し、ボランティアの育成やウォーキングマップを活用したウォーキング教室の開催等新たな取り組みに向けて、区民と協働し、効率的な事業執行を目指していく。
3	継続	家族みんなで朝ご飯ばくばく野菜推進事業	898,000	898,000	地域保健福祉課	市の食生活改善推進員とともに、区内の幼稚園に児童を通園させている保護者を対象に、講習会を実施するなどし、朝ご飯に野菜を食べるよう心がけることへの理解者を増やす。	調理実習・講習会および冊子において、実生活にすぐ取り入れることができる情報・知識・技術を普及することができた。	川崎市食生活改善推進員連絡協議会	実施場所の確保など事業展開について課題は残るものの、調理実習・講習会および冊子について、参考になった、食生活を見直す良い機会になったなど大変好評であり、「朝ご飯に野菜を食べるよう心がける」ことを意識するよききっかけづくりができた。	19年度、20年度と協働事業を実施する中で、食生活改善推進員と幼稚園との連携体制を構築することができ、次年度以降、食生活改善推進員の自主的な活動として継続可能と判断したため、終了とした。
4	新規	小地域のつながりネット支援事業	1,268,000	1,265,311	地域保健福祉課	第2期あさお福祉計画の実施に伴い、区民による自助、共助の取り組みを支援するために開始した。世代や従来の活動領域を超えたつながりづくりをすすめ、人々とのネットワークにより、身近な生活課題を解決することを目的とする。(1)区内の保健福祉6エリアごとに開催する「地域懇談会」(2)公募による地域福祉活動の委託を行う。	地域懇談会は、地域の生活課題を一定程度、整理することができた。また、懇談会の内容をまとめ、参加者にフィードバックした。	6つの地域福祉団体ほか	行政が場作りを行う「地域懇談会」と「公募による地域福祉活動の委託」はいずれも住民同士、住民と団体、団体同志の横のつながりを推進するものであり、新しい共助の仕組みであるといえる。	地域福祉の推進を図るために、小地域のつながりに関する取り組みは重要である。委託を終えたものは、区民主体の取り組みとして継続発展するよう、側面的な支援を継続する必要がある。地域懇談会は社会福祉協議会等と十分な連携を図り、地域での開催を試みながら継続し、地域福祉のネットワークづくりに取り組む。

### 3 人を育て心を育むまちづくり事業

1	継続	子育て支援・企画事業	2,324,000	1,504,819	こども支援室					
1-1	継続	こども相談窓口維持管理事業		473,895	こども支援室	麻生区のこどもに関わる様々な相談に応じ、問題の解決のため関係機関や庁内の関係部署と調整や連携をしていく。窓口対応の研修を実施し相談員のスキルアップをする。	支援の必要な子どもの相談に対して継続して状況を把握し、対応のネットワークができ、こども支援室が核となって調整ができた。	こども支援室	相談に対して各関係機関と連携しケースカンファレンスを行う事で確かな分析をし、それぞれの機関の役割や問題点の共有ができた。問題の解決に向けてネットワークが強化されてきた。	虐待や支援が必要な困難事例の子どもの相談に対して関係機関との連携、調整をさらに強化していく。
1-2	新規	麻生区キッズページ作成事業		159,075	こども支援室	麻生区の子ども向けホームページ「きっずページ」の情報の更新を行い、内容の充実をはかる。	今年度のきっずページの改定により、提供する情報量が飛躍的に充実した。麻生区の子ども関連情報の収集・発信の中核としての基盤ができた。		きっずページは、区内の子どもに関する最新の情報を収集・把握するだけでなく、元的に発信・提供するために大きな役割を担う非常に重要な事業である。	きっずページは、麻生区の子どもに関する情報を収集・発信するうえで必要不可欠である。今後も情報の更新だけでなく、より内容を充実させ有効性を高めたい。
1-3	継続	子ども関連ネットワーク会議		133,189	こども支援室	麻生区における子ども関連団体、グループや関係機関の連携を図るとともに、子育てや子どもの育成を地域全体で支援するため、情報交換やネットワーク化に向けての協議等を行う。	各機関、団体の現状や課題を共有できた。その中で子どもたちが地域の中で人との関わりを持ちながら安全に遊べるために、作業部会を設置し学童期の学びのための「みんなのちず」を配布し効果を検証した。また研究企画部会において、関係機関・団体の子育て支援に関する研修や情報交換を行い、ネットワークを強化することができた。	こども支援室	ネットワークを構築していくためには、現状と課題を共有し課題解決に向けての方向性を示し、実践していくための活動が必要である。「みんなのちず」作業部会・研修企画部会を通して、ネットワークを強化し地域に発信できる活動ができた。	地域の課題について会議や委員を通して把握し、具体的に活動できる基盤ができた。今後も引き続き作業部会を設置し、課題に向けて協議し、地域に発信できるものを作成していく。研修企画部会も継続しネットワーク強化をはかる。次年度は子育て情報の発信として麻生区の子育てガイドブックの作成を行う事が必要である。
1-4	継続	子育て人材バンク事業		738,660	こども支援室	区内にいる子育て支援に関する資格や特技を持つ人材を活用し、区内の子育て支援グループ等の支援を行い、地域の子育てを地域全体で支援する。	ボランティア20人(新規登録5人)利用グループ26団体(新規登録3)の登録があった。派遣回数90回。派遣人数165人(平成21年3月現在)。ボランティア登録時に委託先と共に面接を実施したことで、ボランティア個人の特性や活動実績が具体的に把握でき、利用者のニーズにあった派遣ができた。	特定非常利活動法人川崎児童健全育成会ココロ	本事業が認知されるにつれ、ボランティアの登録者数、利用する子育てグループの登録者数が増加しており、年々事業が発展している。利用者からも大変好評を得ており、麻生区の地域の子育て支援活動において重要な役割を果たしている。	今後、本事業を区の地域の子育て支援の場としてさらに発展させていくためにも、ボランティアの登録数を充実させること、利用者のニーズを把握することは重要であり、委託先との調整を十分に行い、子育て支援の強化につなげていきたい。
2	継続	こども関連大学連携事業	691,000	585,950	こども支援室					
2-1	継続	小学校・昭和音楽大学交流コンサート事業		125,000	こども支援室	大学連携事業の活動のひとつとして、昭和音楽大学の大学院生が区内の小学校に出向き、小学校でコンサートを行ったり、小学生に歌や楽器の指導を行うことで、小学生に良質な音楽に触れる機会を提供し、さらに小学生と大学院生の音楽による交流を通じて、地域社会づくりに貢献する。	生の演奏や歌を聞き、さらに大学生と児童とのふれあいは、お互いの教育的効果があった。また、麻生区が芸術のまちとして地域づくりを展開させていくことの周知にもなった。	こども支援室	麻生区の地域の子どもの健全育成のために、良質な音楽に触れることは有効だった。	平成18年度から実施している事業であり、昭和音楽大学も20年度より学生の単位取得として位置づけられた。地域に根ざした事業に発展すると考えられる。
2-2	継続	麻生区マタニティコンサート事業		300,500	こども支援室	出産を控えた妊婦のリラクゼーションを図ることを目的として、昭和音楽大学卒業生を中心とした演奏家のコンサート及び保健福祉センターの助産師の妊娠中の生活のワンポイントアドバイスをし、妊娠中からの子育て支援の一環とする。	7月43人、12月56人の参加があった。プロの演奏や読み聞かせボランティアの話や手遊びにより、リラックスでき胎児も良く動き反応が良かった。出産後の子育てのイメージもでき、地域の資源を活用できるようなPRもできた。	こども支援室	妊娠中や子育て中は気軽に参加できるコンサートが身近にないため、好評だった。また、コンサートだけでなく、地域の子育て支援のPRができ効果的だった。	音楽を通しての子育て支援は継続していきたい。
2-3	新規	麻生区親子コンサート		160,450	こども支援室	就学前の親子が身近な場所で気軽にコンサートに行くことができ、良質な音楽に触れ、楽しみ、リラックスした機会を持つことで、子どもの健全な発達、発育につながり、子育て支援の一環となる。	親子がリラックスしながら一緒になって出演者の歌や音楽に触れ、手遊びをするすることで、子どもの健全な発達、発育につなげることができた。参加者120組310人。	こども支援室	子育て中は手軽に参加できるコンサートが身近にないため、大変好評であった。	平成20年度は昭和音楽大学との連携による事業であったが、今後は昭和音楽大学に加え、様々な地域の資源を活用して内容の充実を図りたい。
3	継続	親子ハーモニーランドinあさお	252,000	152,274	保健福祉サービス課	子育てに関する事業の企画、運営、情報提供を区民と保健福祉センター、市民館、地域子育て支援センター、保育園等が協働で行う。①交流会・学習会の企画、運営②子育て情報誌「ハーモニーランド通信」③定例会の実施	子育て中の区民のニーズにあった子育て交流会・学習会を実施し、子育て情報誌「ハーモニーランド通信」を年3回発行することができ、事業の目的は達成された。この経験を、今後の子育て中の区民・子育てに関心の高い区民との協働に活かし、子育て支援のシステムの構築に活かすこととする。	親子ハーモニーランド企画委員会	親子ハーモニーランドinあさおの活動を通し、子育て中の区民のニーズの把握方法が確立できた。この活動を通して培ったノウハウを活かして、子育て中の区民のニーズを把握していくことで、きめ細い支援を行うことができる。	今後、親子ハーモニーランドは、地域の子育て支援を行う独立したグループとして、活動を発展させていくこととなった。保健福祉サービス課としては、その活動を側面から支援をしていく。

### 4 環境を守り自然と調和したまちづくり事業

1	継続	麻生区自然エネルギー活用促進事業	722,000	686,183	地域振興課	区役所屋上等に設置された、太陽光発電設備を活用し、イベント、講演会等を開催するなど自然エネルギーの活用、環境問題の啓発活動を実施する。	イベント、講演会等多くの区民の参加を得られており、大きな成果がまっている。	麻生区自然エネルギー活用促進実行委員会	区民主体の執行委員会として、積極的な活動展開があり適正に事業実施できた。	区民主体での啓発活動をより活性化し、出前講座や講演会、イベントを行っていく。また、事業をCCかわさきの麻生区での取組の一環として捉え、環境局や関係団体と連携していく。
---	----	------------------	---------	---------	-------	---	---------------------------------------	---------------------	--------------------------------------	---

No.	新規・継続	事業名	当初予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業目的及び内容	事業報告	実施主体・委託先	総合評価	今後の方向性
2	継続	体験農業 一親子で米づくり	1,000,000	903,575	地域振興課	米づくりの作業を通して親子の絆を深めるとともに、食の大切さ、農業の尊さを実感し、麻生区の地域特性である都市と農業の共生について考える機会を提供する。	当年度は、参加者が募集定員を大きく上回った。参加者・実行委員・農業指導者の連携はうまくできていた。	体験農業実行委員会	地域の特性を活かした麻生区ならではの事業であり、農業や麻生区を理解する上でも大きな成果をもたらしている。	作業場所である田んぼ周辺の開発事業に大きく影響を受けることや、実行委員会の力量等を踏まえ、今後の事業について検討する。
3	新規	あさお花いっぱい推進事業	950,000	487,628	地域振興課	川崎市美化運動実施麻生支部との協働により、公共的空間にある自主的かつ継続的に花壇を管理している団体へ花苗、培養土、プランターを提供する。	自主的かつ継続的に花壇を管理している団体へ花苗等を提供することにより、団体の活動の充実等に寄与することができた。	川崎市美化運動実施麻生支部	平成20年度に初めて実施した事業であるため、区民へ広く制度の周知がなされていない面もあるが、花苗等を提供した団体に対しては活動の充実等に寄与することができ、一定の効果はあった。	当事業は、市の緑化推進事業を補完する事業でもあるため、他の事業との整合性や事業の効果の検討、活動団体のニーズを把握し、事業内容等について改善して実施していく。
4	継続	麻生里地・里山保全推進事業	898,000	898,000	生涯学習支援課	麻生区に残る里地・里山の魅力を未来に継承するため、里地・里山カフェ塾、里山フォーラム、活動団体・グループ交流連絡会の開催やネットワーク通信等の発行等の事業を実施する。	麻生区を中心とした身近な里山の歴史や自然について、様々な手段を用いて、市民の学習の機会を提供することにより、里地・里山保全に対する関心を盛り上げて、里山フォーラム参加団体はもとより、地域の幅広い市民の参加を得ている。	里山フォーラムin麻生世話人会	麻生区内の自然環境保全に関連して活動している団体・個人が集まる機会を数多く提供しており、本事業により、地域の里地・里山保全に向けての活動交流が促進され、ふるさと麻生の文化と環境を未来につなぐための市民の意識向上に向けて、有効な中間支援組織となっている。	地域の里地・里山保全推進に向けて、様々な手法により、広く一般の関心を喚起し、環境問題に関する意識を高めてきた。今後も現状と課題を分析しながら、身近な環境の保全について、楽しく学び、行動できるような事業をすすめる。

## 5 個性と魅力が輝くまちづくり事業

1	継続	麻生音楽祭2008	3,270,000	2,739,730	地域振興課	6～7月に音楽グループによるコンサートやつどいを開催し、発表の機会が参加する「音楽の街・あさお」を代表するイベントとなっている。	2千人強の参加者及び5千人強の来場者があり、合計7千人を超える人が参加する「音楽の街・あさお」を代表するイベントとなっている。	麻生音楽祭実行委員会	芸術文化のまちづくりの核となる事業として、地域に根ざした活動をしており、麻生区の魅力を内外に発信することができる事業である。	区民主体の運営体制が軌道に乗り、滞りなく事業を遂行できた。次年度以降は事業を実施しながら課題を検討し、改善につなげていく。また、「かなでようあさおの響き」を音楽祭事業へ集約するため、関係機関との調整を行う。
2	継続	あさおランチタイムコンサート	1,530,000	1,422,809	地域振興課	区民が気軽に音楽を楽しむことができる機会を設けることで、区のイメージアップを図るとともに、音楽家・音楽愛好家のネットワークづくりを促進する。奇数月第4月曜日に区役所2階ロビーで開催。他、夕方トワイライトミュージック、年始にランチタイムコンサートスペシャルなどを開催。	地域に根ざした活動として定着し、区民に大変親しまれている。一回のコンサートにつき平均して200人強の来場者(来庁者)があるほか、移送サービスを利用して毎回来場する高齢者もあり、区民に期待されるコンサートとなっている。回数を50回以上重ねてきたことにより、音楽家・音楽愛好家のネットワークづくりにも取り組み、自主的な拡充を図っている。	あさおランチタイムコンサート実行委員会	ランチタイムコンサート以外にも区役所外で行うネットワークコンサート、夕方トワイライトミュージックなども取り組み始め、様々な形式により、いつでも誰でも音楽を楽しめる機会の提供に努めている。区役所を拠点とした形式から転換を図り、音楽関連施設を利用することにより、事業を拡充していく方向へと進んでいる。	出演者の協力も得ながら取り組んでいるが、現状のスタッフ体制では手一杯の状況にある。平成21年度より名称を「あさお芸術のまちコンサート」と改め、会場を区役所ロビーから区内ホールへ移したこともあり、更なる新スタッフや地域ボランティアの拡充に努め、内容を精査していく必要がある。
3	継続	えいぶるコンサートinあさお	600,000	583,567	地域振興課	幅広い世代を対象に、障害のある人にも気がねなく音楽を楽しむ機会を提供することにより、「音楽の街あさお」の一層の推進を図る。また、障害の有無にかかわらず、誰もが参加できるコンサートとし、区民の交流を図る。	障害者等約300人が参加し、過去4年間の実績を踏まえ、地域ボランティア等を中心に地域に根付いたコンサートとなるよう取り組んだ。	えいぶるコンサート実行委員会	ノーマライゼーションの観点から健常者だけでなく障害のある人も良質な音楽を楽しむことができ、誰もが参加できる機会を提供することは必要である。今後は地域とのつながりをさらに強化し、地域に根付いたコンサートとしていく必要がある。	田園調布学園大学と連携を進め、地域とのつながりを増やし、障害者関係分野だけでなく、地域に開かれたコンサートとなるよう、実行委員会・スタッフ体制の充実を検討していく。
4	継続	あさお観光資源の魅力紹介事業	1,272,000	986,000	地域振興課	平成17年度から平成19年度までの「あさお観光資源の発掘調査研究事業」で蓄積した麻生区の見所情報をもとに、広く麻生区の魅力や麻生区内外に情報発信をするため、麻生区役所ホームページ内に新たに「麻生の魅力」を作成する。	昨年作成した観光ガイドブックをもとに、ホームページを作成できたので事業として達成された。	麻生観光協会	新総合計画の施策計画「新たな観光の振興」を目指す中、ホームページによる情報発信をすることができた。また、観光協会の強化育成の観点からも有意義な事業であり、事業目的に対する成果が得られている。	3年間にわたる観光資源の発掘調査研究を行い、平成19年度には観光ガイドブックを作成した。平成20年度からは3年間で「あさお観光資源の魅力紹介事業」に取り組み、ホームページを作成した。平成21年度は、観光写真コンクールを実施する。コンクールの写真を利用することで、ホームページの充実を図ることができる。
5	継続	あさおスポーツフェスティバル	800,000	761,902	地域振興課	地域で区民が自主的に運営するスポーツ大会を支援するとともに、区民の健康と体力の向上、活力と躍動あるまちづくりに資することを目的とする。	地域に根付いたスポーツフェスティバルとして評価されており、地域でのスポーツの場作り、交流の場として効果をあげている。	あさおスポーツフェスティバル実行委員会	小学生から高齢者の大会と、幅広い年齢層のスポーツ大会を支援しており、多くの区民の参加を得ている。	個々の大会の実情に合わせた支援を実施し、より多くの区民の参加が得られるように工夫していく。
6	継続	KAWASAKIしんゆり映画祭野外上映会	900,000	900,000	地域振興課	しんゆり映画祭の周知と芸術のまちづくりの推進を図るため、その一環事業である野外上映会の支援を行う。	「しんゆり映画祭」本祭前の事業であることから効果的な広報の方法の検討が必要であるが、毎年家族での参加が多く充実した事業である。	KAWASAKIしんゆり映画祭実行委員会	「しんゆり・芸術のまち」としてふさわしい事業であり、区の魅力を内外に発信する事業としての効果的である。	過去数回上映した映画は、親子が楽しむ映画として娯楽性に欠ける部分がある。上映映画を検討する段階から実行委員会と連携を図り選定すれば事業の魅力を向上させることができる。
7	継続	麻生区中学校合同音楽会 かなでようあさおの響き	600,000	600,000	地域振興課	「音楽のまち・かわさき」事業に合わせ「音楽の街・あさお」のまちづくりを進める。区内市立中学校8校生徒の音楽活動の成果を発表し、PTAや地域の方々と共に音楽を楽しむ場とする。また、合同演奏や音楽会運営を通し、各校生徒の連携と交流を深める。	合同演奏や音楽会運営を通し各学校の生徒の連携と交流を深められた。各学校の生徒による音楽活動の成果発表からPTAや地域へ音楽を楽しむ場の提供ができた。	かなでようあさおの響き実行委員会	各中学校の生徒による音楽活動の集大成として、PTAや地域へ披露しながら音楽を楽しむ場として有意義な事業であるが、麻生音楽祭事業と重複する部分が多いため、事業の見直しが必要である。	麻生区内市立中学校8校の生徒の音楽活動の成果を発表する場として開催してきたが、21年度に音楽祭事業へ移行し、22年度には音楽祭への集約を行う予定。
8	継続	ふるさとあさお再発見	748,000	748,000	地域振興課	区民から愛され、親しまれる「ふるさと」づくりを目指し、地域に伝わる財産を風化させず後世に継承していく。区民とともに、食育文化を通じて麻生区に伝わる文化を再現し「ふるさとあさお」を提供する。	伝統・伝承文化などを区民に広く紹介し、麻生区に伝わる文化を再現し、「ふるさとあさお」を提供できた。	麻生区文化協会	伝統・伝承文化などを区民に広く紹介することは、これらの地域に伝わる財産を風化させず、後世に継承していく事業目的に対する成果は得られている。	地域に伝わる財産を風化させず、後世に継承していくという観点から継続的な事業展開が必要である。
9	継続	区政・地域情報提供事業	683,000	329,700	総務課企画課					
9-1	継続	麻生区統計白書作成業務		0	総務課	平成16年度からの継続事業として、各種統計データの収集・分析から明らかになった麻生区特性を冊子にまとめ、転入者や区内の学校へ幅広く配布している。平成19年度に作成した「あさお区ってどんな街？」は2年間の配布用として15,000部作成したので、平成20年度事業としては新たなものは作成せず、在庫状況を勘案しながら必要に応じて増刷するもの。	平成20年度に数回行った在庫状況確認の結果、当初の予定通り、現在の在庫で平成21年度もまかなうことができると判断し、増刷は行わなかった。	—	—	情報提供手段としてインターネットが普及してきている中、窓口にて大量の資料にまぎれこませる形で配布している現状は費用対効果の点から疑問が残る。今後、事業を継続していくならば、同じように協働推進事業として作成しているパンフレット類と統合するなど、より高い効果が見込まれる効率化を図ることが望ましい。
9-2	継続	麻生区役所ホームページ運用研修		210,000	企画課	麻生区ホームページの更新作業に当たり、区職員のホームページ作成能力の向上を図るための研修を実施する。	区職員に対してホームページ作成研修を3回行い、区職員のホームページ作成能力の向上を図った。	富士通オフィス機器(株)神奈川支店横浜営業所	所管課の職員の能力向上により、所管課で直接更新作業を行えることから、更新作業が早く行うことができ、区ホームページを有している以上、必要な事業であると考ええる。	所管課の職員は本来業務を抱えている中で、OJTによる研修が困難であることや、ホームページの利用が今後益々増えることが予想されることから、どの所管課であっても、能力の向上を図ることが必要であり、今後も継続する。
9-3	継続	麻生区役所ホームページ更新事業		119,700	企画課	麻生区ホームページの更新作業に当たり、市民にとって分かりやすいホームページとなるよう専門的技術を有する事業者から、技術的助言を受け、また、コンテンツの作成を委託する。	ホームページ更新作業に当たり、専門的知識を有する業者を利用することで、技術的に難しい更新作業も早く、正確に行うことができた。	(有)MONTEROZZA	ホームページの更新作業については、区民ニーズの多様化から様々なコンテンツを作成する必要があり、技術的に専門的知識を有する者の協力が不可欠であることから妥当な事業である。	掲載情報を充実させ、高齢者、障害者等にも配慮したページを作成していることから、区民ニーズを満たしていると思われる、今後も継続していく。
10	継続	麻生区広報発信事業	3,185,000	1,481,444	企画課	市政だよりかわさき麻生区版特別号を発行することで、通常伝えることのできなかつた情報の内、特に区の政策広報や区役所業務の紹介を重点的に行うことができる。これにより、区民に対して区役所が身近な行政拠点であることを伝え、区民にとって利用しやすい区役所づくりを目指す。	通常伝えることのできなかつた情報の内、特に区の政策広報や区役所業務の紹介を重点的に行うことができた。また、配布をポスティングにより行ったことで、区民全体に伝えることができた。	株式会社神奈川新聞社営業局川崎営業所 他	通常の市政だより麻生区版では、区民と区役所の関わり方や重点政策を伝える余裕がないため、改めて広報できたことは意義があったといえる。	今年度は「特別号」ということで、普段伝えられなかった内容を広報することができ、目的を達成できたといえる。また、改めて特別に広報したい事項が発生した場合に随時発行をすることが望ましい。
11	新規	イメージアップ推進事業	2,000,000	1,960,704	企画課地域振興課					
11-1	新規	懸垂幕作成業務		36,750	地域振興課	「アルテリッカ・しんゆり」の開催を、広く地域住民にPRするため懸垂幕を設置する。	「2009 4/24～5/10」の開催期間に合わせて設置した。	有限会社角忠旗店	「アルテリッカ・しんゆり」の開催及び「しんゆり・芸術のまち」を、広く地域住民に周知することができた。	5月10日まで掲出し、終了した。
11-2	新規	小学生の絵画展		168,420	企画課	「芸術のまちづくり」と麻生区のイメージアップの推進を図ることを目的に、新百合ヶ丘駅周辺に小学生の絵画展示を実施する。また、今年のゴールデンウィークに新百合ヶ丘駅周辺で行われる「川崎・しんゆり芸術祭2009」の開催前から絵画展示を実施することにより、来街者の歓迎ムードの演出と同芸術祭の雰囲気づくりを図る。	平成21年4月24～5月7日まで掲出した。掲出場所を通行する区民、区の在勤者は時に立ち止まり、絵画に目をやっていた。また、この取組はマスメディアにも取り上げられ、区民へのアピールについても達成できたといえる。	ライン工芸	麻生区区民会議地域交流部会の発案により「アルテリッカ・しんゆり」に合わせた取組を行うことが決定された。本事業の目的は概ね達成されたといえる。	「アルテリッカ・しんゆり」の期間終了に伴い、本事業も終了とする。

No.	新規・継続	事業名	当初予算額(円)	決算額(円)	所管課	事業目的及び内容	事業報告	実施主体・委託先	総合評価	今後の方向性
11-3	新規	新百合ヶ丘駅周辺イルミネーションイベント支援事業		1,000,000	企画課	「しんゆり」をさらに魅力ある街とするための取組として公民協働によるイルミネーションイベントの開催が企画され、実行委員会が組織された。このイベントは「芸術を通じたまちづくり」や「活力あるまちづくり」の推進に寄与するものであり、区も共催することとし、応分の負担をするものである。	イルミネーションの点灯期間中、オープニングイベント・ファイナルイベント等多くのイベントが開催され、公民協働による「芸術を通じたまちづくり」や「活力あるまちづくり」の推進に一定の効果があったと考える。	急遽、イルミネーションイベントが企画され準備期間が十分でない中、フロンターレ・学生・麻生区在住ミュージシャン等地域参加・地域主体によるイベントが多く開催され、公民協働による「芸術を通じたまちづくり」や「活力あるまちづくり」の推進に一定の効果があったと考える。	平成21年11月～平成22年2月間のイルミネーションイベント開催に向け、既に実行委員会が組織されている。学生の企画によるイベントや芸術関連イベント等を拡充し、「芸術を通じたまちづくり」や「活力あるまちづくり」のより一層の推進を図る。	
11-4	新規	地域コミュニティ活動支援事業		653,966	地域振興課	麻生区における市民活動支援の拠点として位置づけている「麻生市民交流館やまゆり」を通じて、市民活動団体に対する中間支援機能の一つとして、新たな地域コミュニティづくりにつながる市民活動団体等の活動を支援するために、資金助成を行う。(20年度は試行実施)	10団体から応募があり、審査の結果、8団体の事業に対して助成を行った。助成を受けた団体は、21年4月に事業報告会を行った。	市民団体8団体	「やまゆり」に中間支援組織としての機能(活動の場の提供・情報提供・人材育成・資金助成)をそろえることができた。市民活動団体からの認知にもつなげることができた。	20年度の試行実施の結果を踏まえて実施内容を改善し、21年度からは区内の市民活動団体を対象として広く事業を募集する。審査員には、民間の有識者を加える。
11-5	新規	麻生区地域功労賞		26,206	地域振興課	各種団体の表彰の対象にならない麻生区の地域の活性化に貢献した個人(団体)を麻生区長名で表彰する。	審査会での審査を経て、今年度は、麻生区に貢献があった4人を表彰した。	地域振興課	区民が大勢集まるあさお区民まつりで表彰式を行うことで、人々への地域活動への関心を高めることに効果をあげている。	表彰制度の質を落とさないように選考には十分注意していく必要がある。
11-6	新規	町内会事業提案制度		48,062	地域振興課	地域住民のつながり、地域の課題解決力の再生を目指して、地域の担い手である町内会が行う先駆的な事業の一部を負担する。	提案した町内会が一つしかなかったが、地域の問題をひとりひとりが共有し、連帯感を高めることができた。	町会・自治会	地域では課題が多岐にわたり、その解決のために支援していくという事業は有益である。	町内会の実情に合わせた支援を実施し、より多くの町内会が申請できるよう工夫していく。
12	新規	地域資源を活用したまちづくり推進事業	1092000	750880	企画課	麻生区の特徴である「農」、地域の資源である「4大学」や「日本映画学校」、「アートセンター」、「川崎フロンターレ」、「マイコンシティ」などと連携し、これらを活かした個性あるまちづくりに取り組む。	20年度は、昭和音楽大学、川崎フロンターレ、麻生フィルハーモニー管弦楽団と連携し、事業を行った。一般区民に広く参加してもらえイベントを行ったことで、麻生区が取り組む「芸術のまちづくり」をアピールすることができた。	昭和音楽大学ほか	20年度の新規事業ということで、事業の枠組みや要綱の検討から企画、団体との調整、実施までかなりの時間と労力を注いだが、無事、3事業を行うことができ、初年度としては十分な成果を上げることができたといえる。	「芸術」分野だけでなく、今後は「農」など違う分野の事業も模索していく必要がある。また、区民ニーズや区役所の課題を反映させた事業展開が望ましい。

## 6 参加と協働による市民自治のまちづくり事業

1	継続	麻生区まちづくり推進事業	5,100,000	4,639,391	地域振興課	市民自治のまちづくりを推進する。そのために、支援機能としての「市民活動を支える環境の整備」や、「活動を生み育てる機能」として活動を立ち上げ、軌道に乗った段階で独立させる活動に取り組む。また、それに関する支援を同事業のサポート事業としてコンサルタントを活用していく。	「市民活動支援部会」においては各種講座を開催し、他団体とのネットワークを拡大した。「まちづくり推進部会」の各企画は来期市民の会から独立し、市民の会とのつながりを維持しながら自立した活動への展望が開けた。また、第3期市民の会はテーマ型組織としてリニューアルし、3つのプロジェクト活動を軸に展開することが決定した。	麻生まちづくり市民の会(株)社会空間研究所	今年度も具体的な企画活動を活発に行った。また、第3期市民の会に向けて各種企画の独立や新しい組織形態の枠組みができたことは評価できる。	次年度は、第3期市民の会としてこれまでと違った組織体制を採り、具体的活動テーマを基にしたプロジェクト毎の活動を軸としているので、プロジェクト間の連携が重要となってくる。新たなネットワークづくりのために既存の企画と新しい企画のバランスを保ちながら検討を進めていく。
2	継続	麻生市民活動支援施設市民活動支援事業	1,485,000	1,396,411	地域振興課	麻生区市民活動支援施設「麻生市民交流館やまゆり」において、市民活動支援相談窓口に関わる業務を行う。区民の手によるまちづくり活動を推進することを目的に、印刷機、その他必要周辺機器を整備する。	利用登録団体は400を超え、会議室も77%と高い稼働率を示した。また、各種協働推進事業においても、やまゆり開館1周年記念事業では100名を超える参加があり、「区民記者講座」で取材した記事を「あさお市民活動レポート」として発行した。また、市民活動相談窓口を週2回に拡充するなど、市民活動支援施設として一定の成果をあげたと言える。	NPO法人あさお市民活動サポートセンター	具体的な発展があり、事業全体としての成果は評価できる。	来年度については、引き続き地域活動への参加促進のための情報提供、市民活動団体のネットワーク構築など市民活動支援全般に関わる業務を行う。また、市民活動支援相談窓口の運営も地域の人材紹介という新しいメニューを加え、併せて行っていく。
3	継続	外国人市民地域活動参加推進事業	999,000	650,834	地域振興課	多様な外国人市民が積極的、主体的に地域のまちづくりに参加し、意見を区政に反映できるようにするための課題の整理やその解決手法を検討し実践活動に取り組む。	・外国人に対する医療情報の電話での無料相談の実施 ・「あさお保健福祉だより」、「麻生区防災マップ」の翻訳 ・外国人のための普通救命講習実施 ・外国籍等ことも支援事業では、学校における支援9校15名のうち、4校8名の支援者が派遣の成果などにより支援終了した。	麻生外国人医療情報ヘルプライン、あさお多文化サポートネットひまわり	それぞれの事業に一定の成果は得られたものの、他団体への広がりや外国人市民が積極的、主体的に地域のまちづくりに参加していく仕組みづくりについては今後の課題である。	他団体との連携等、活動に広がりを持たせる効果的な手法を模索する。
4	新規	麻生区町会自治会エリアマップ作成事業	2,322,000	1,360,800	地域振興課	地域コミュニティの活性化を図るため、麻生区役所と麻生区町会連合会が協働し、町会・自治会未加入者に対する町会・自治会加入促進パンフレットを作成・配布し、町会・自治会への加入を積極的にすすめる。	区と町会連合会が協働して、パンフレットの内容等について検討し、市で初めて、町会・自治会の活動内容等とエリアマップを掲載したパンフレットを2万部作製し、転入者や町会・自治会へ配布した。	地域振興課	市で初めて、町会・自治会の活動内容等とエリアマップを掲載したパンフレットを作製し、町会連合会と協働して、これまで以上に活発に加入促進を進めていくことができ、地域コミュニティの活性化につなげていくことができる。	区役所や町会・自治会などを通して町会・自治会未加入者へ配布しており、事業としては終了する。今後も引き続き、町会連合会と協働して、パンフレットを活用し、加入促進を進めていく。
5	継続	区役所窓口等サービス充実改善事業	1,248,000	1,021,566	区民課	例年3月から5月にかけて区民課窓口が大変混雑するため、この混雑解消と区民サービス向上のための届書、申請書の記載方法や受付窓口を案内する「窓口案内係」を配置する。	来庁者を長時間待たせることなく効率的に窓口へ振分け誘導する迅速な対応と、各種届出書の記載方法を説明することにより、手続きがスムーズにでき受付窓口を充実させることができた。	区民課	窓口の混雑解消、待ち時間の短縮などは市民サービスの向上とイメージアップに直結する事業である。本事業によって、その目的に対する効果は上がっていると考えられる。	大規模な住宅造成により、大型マンションや戸建住宅の建設により住民異動が今後も続く予想される。混雑解消と待ち時間短縮のため、この事業は継続する必要があると考えられる。
6	新規	あいさつが交し合える地域づくり事業	2,993,000	2,698,500	企画課	「心が響きあう地域づくり」を推進するため、区内において都市型コミュニティの成功事例、先進事例を調査し、事例集にまとめたとともに、その事例集を活用することで、既存活動の活性化や新たな活動団体の結成などを区全域へと広げていく。	2カ年の事業を予定しており、1年目の20年度は、区内における都市型コミュニティの成功事例、先進事例を調査した。予定していた内容は順調に終えることができた。	(株)社会空間研究所	区民会議の取組を受けて事業化されたものであり、麻生区の重点政策に位置づけられている。今後の地域コミュニティづくりに役立てるためにも、その意義は大きいといえる。	当初から2カ年の事業として計画されているため、予算を伴う事業としては21年度をもって終了する。21年度中に、作成された事例集をいかに地域に広めていくか、といった展開の仕方を検討する予定である。

## 7 その他経費

1	継続	緊急・地域課題対応事業	5,936,000	1,565,550	企画課					
1-1	新規	AED購入事業		520,800	企画課	区内で行われている各種スポーツ大会の大会本部及び保健福祉センターが行っている「あさお体験ワーク」等、区役所外部で行うイベント時にAEDを準備し、各イベントの参加者が緊急に心臓停止状態となった場合に備える。	AEDを2台購入し、購入後は、各イベント時に事務局が持参することにより万が一に備えることができている。	企画課	購入及び使用・管理を行う事業課との調整により、万が一の場合に備えることができたことは意義が大きいといえる。	購入をもって今回の目的は達成されたといえるが、バッテリー等の消耗品の購入は今後必要となることが想定されるため、その都度柔軟に対応することが求められる。
1-2	新規	新百合ヶ丘駅南口掲示板活用促進事業に伴う工事		1,044,750	地域振興課	新百合ヶ丘駅前に設置されていた案内板の老朽化に伴い、麻生区の芸術・音楽情報発信を行うため、掲示板への取替え工事を実施した。	該当箇所に掲示板を2枚設置した。通行人が多いため、効果的に情報周知が行えている。	有限会社 高石建設	設置により、安全性の確保ができるとともに、麻生区の芸術・音楽情報を広げてきているといえる。	3月31日に設置が完了し、事業としては終了した。今後もより多くの音楽情報の発信を行い、しんゆり・芸術のまちづくりを推進していく必要がある。
2	継続	事務費等共通経費	1,346,000	1,018,775	企画課 地域振興課	協働推進事業実施に伴う、事務用品費等の購入	事業運営に際し、円滑な事務を推進することができた。	企画課 地域振興課	事務処理を円滑に進める上で、適正である。	協働推進事業の円滑で効率的な実施のため、今後も共通事務費の適正・効果的な執行に努め、更なる区民サービスの向上を図っていく。
合計			55,000,000	41,518,466						